

# 平成25年度

## 訪問介護ステーションごきげんさん

### 事業報告

#### 基本方針

訪問介護ステーションごきげんさんは、ご利用者の尊厳、基本的人権を尊重し、専門職としての自覚を持ち、ご利用者が安心して自立した日常生活を営むことが出来るよう、身体介護及び生活援助を支援していく。

また、その家族と共に、ご利用者に対し、より良い介護方法の提供や相談等を受け自立支援に向けたサービスを提供する。

ヘルパーの育成と安定したサービスの提供により、質の高い介護の実現に努める。

#### 総括

上記基本方針のもと、事業計画に基づき事業を実施してきたところであるが、当初の数値目標である、「1ヶ月の延べ訪問時間を、身体介護：300時間以上、生活援助：100時間以上のサービス提供の確保に努める」という項目について身体介護の数値目標について達成できた月もあったが、下回る結果となった。生活援助・複合についても目標を超えることができなかった。これは、職員の減少が考えられる。

また、ターミナル期で在宅の看取りも多く、利用者数の安定は難しい結果となったが、訪問介護としての役割を考える1年となった。

今後スタッフの確保と、ケアの質の向上を図ることが必要であり、次年度への課題でもある。

#### 重点項目の評価

##### ① サービス内容の質の確保

- ・生活状況、身体状況が変化した際にはモニタリングを行い、担当ケアマネージャーに報告するとともに、適切なケアが提供できるよう連携を図り、ケアプランの修正・立案を行った。
- ・初めて訪問を行う訪問介護員には、事前に利用者様の情報を伝達し、更に利用者宅に管理者又はサービス提供責任者が同行し、利用者様個々のサービス内容を指導し

説明を行った。その後もケア内容に不安がある際には同行し、指導を行った。

・担当者会議 議事録、業務日誌等の確認印の徹底を行った。

・学習会、伝達講習会の開催については、下記のとおり。

8月 サービス提供責任者講習（外部）

9月 訪問介護部会・福祉用具を使った安全安楽な移動、移乗の方法（外部）

11月 管理者研修・管理者としてのリスクマネジメント（外部）

2月 介護サービス事業所・施設管理者研修会（外部）

認知症研修・前半（内部）

3月 認知症研修・後半（内部）

## ② サービス提供量の確保

1か月の延べ訪問時間を、身体介護300時間以上、生活援助100時間以上、身体生活の混合を50時間以上とする数値目標は、平均値では身体介護：283.8時間、生活援助：31時間、混合：31.8時間と届かなかった。

その他実績：別紙のとおり

## ③ 職員の質の向上に努める

- ・サービス提供時間・内容確認のため、管理者・サービス提供責任者が、訪問時間に合わせて随時確認を行い、随時、指導を行った。
- ・訪問の確認のため、訪問前の事前連絡を徹底した。
- ・家族からの苦情については迅速に対応を行った。

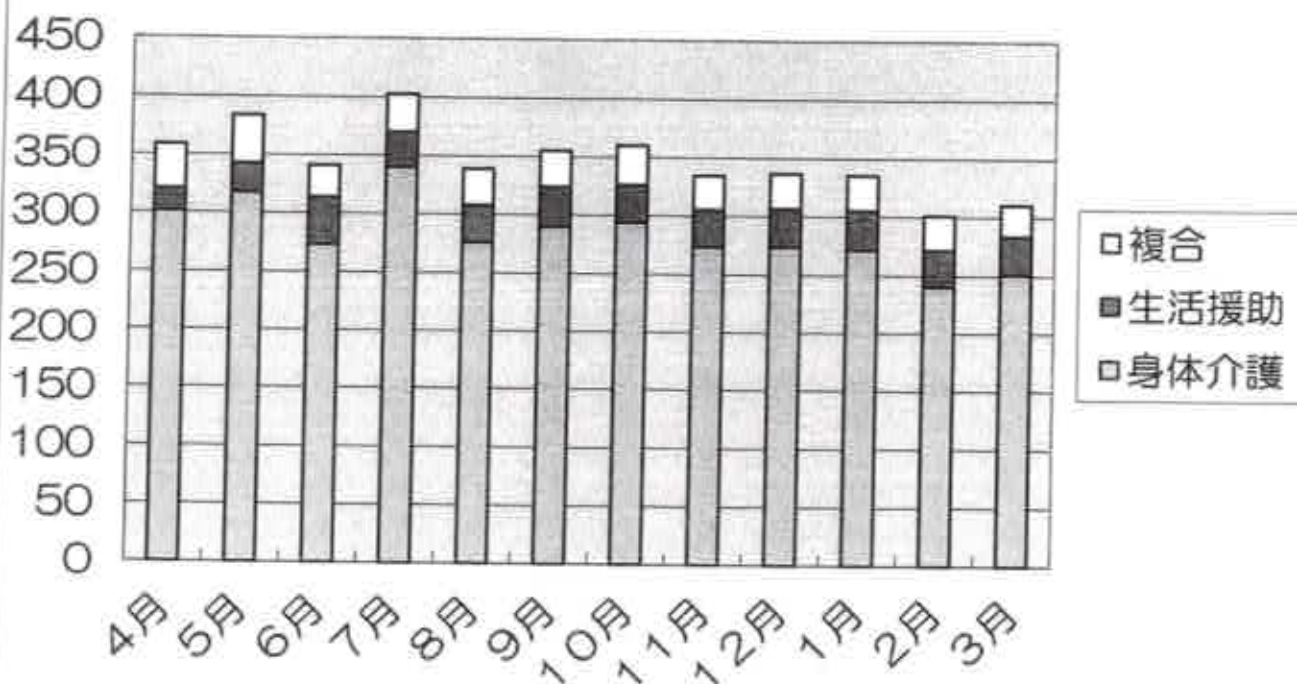
## 延べ時間数

(単位：1時間)

	身体介護	生活援助	複合	合計時間数
4月	301.3	19	38.3	358.6
5月	317.5	25	41.3	383.8
6月	273.5	40.3	27.5	341.3
7月	340.2	30.3	32	402.5
8月	276.3	31.5	31.3	339.1
9月	290.2	34	31.3	355.5
10月	294.2	32	34	360.2
11月	274.3	31.3	29	334.6
12月	274.2	32.3	30.3	336.8
1月	272.3	33	30.2	335.5
2月	240.3	31.3	29.5	301.1
3月	251.3	32.3	27.2	310.8
総合計	3405.6	372.3	381.9	4159.8

介護予防は時間数として含まず

## 延べ時間数



予防介護月別利用者数

	予防訪問介護Ⅰ	予防訪問介護Ⅱ
4月	1	3
5月	1	2
6月	1	2
7月	1	2
8月	1	2
9月	1	2
10月	1	2
11月	1	2
12月	1	2
1月	1	2
2月	1	2
3月	1	2

利用開始・修了一覧

	サービス開始(新規)		サービス修了			
	介護	予防	施設	病院	死亡	その他
4月				1	2	
5月	3				1	
6月	2				1	
7月					1	
8月						
9月						
10月					1	
11月	1				1	
12月			1			
1月	1					
2月	1				1	
3月					1	
合計	8	0	1	1	9	0